

資料編

資料1 用語

※各用語には該当するページ数を記載

あ行

愛知目標…7,134

2010(平成 22)年に採択された、地球上の生きものや自然を守るための世界目標。2020(令和 2)年までに達成すべき 20 の項目が定められ、国際社会の指針となった。

アイランドシティ…11,19,47,82,109

博多港の港湾機能強化を目的に、大水深の航路整備で生じるしゅんせつ土砂を活用して誕生した都市空間。

ウェルビーイング (Well-being) …5,10,27,137

身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福だけでなく、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含んだ概念のこと。第六次環境基本計画で最上位の目的として掲げられた。

栄養塩類…41,59,77

窒素やリンなど、海藻類の成長や、魚類や二枚貝の生産を支えるプランクトンの増殖に必要となる物質。

エコツーリズム…45,73

自然環境や歴史・文化を体験し、学ぶとともに、地域の自然環境や歴史・文化の保全に責任を持つ観光のあり方。

エコパークゾーン…36

和白干潟を中心とした約 550ha の海域及び海岸域。多くの渡り鳥が飛来するなど豊かな自然環境を有する。

エコロジカル・ネットワーク (生態系ネットワーク) …14,23,50,136

人と自然の共生を確保していくため、原生的な自然地域などの重要地域を核として、生態的なまとまりを考慮した上で、有機的に繋いだ生態系のネットワーク。分断された森や川を緑地などでつなぎ、生きものが移動できるようにする。

エシカル消費…33,35,37,38

エシカル(ethical)とは直訳すると「倫理的な」「道徳上の」といった意味で、エシカル消費とは地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・環境に配慮した消費行動。一人ひとりが社会的な課題に気づき、日々の買い物を通して、その課題の解決のために、自分は何ができるのかを考えてみるのが、エシカル消費の第一歩と言われている。(資源保護等に関する認証がある商品を選択するなど)

か行

カーボンニュートラル…137

省エネの取り組みや、太陽光発電などの再生可能エネルギーなどの活用により、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量をできるだけ減らし、その「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

環境影響評価…42

環境に著しい影響を及ぼすおそれのある事業の実施にあたり、あらかじめ事業者自らがその事業が環境に与える影響について予測・評価し、その結果を事業に反映させることにより、事業を環境に配慮したものとするための制度。

環境基準…40,93,96

大気汚染、水質汚濁、土壌汚染及び騒音について、人の健康の保護及び生活環境の保全の上で維持されることが望ましい基準として国が定めた行政上の政策目標。

環境ラベル…35,37,38

製品やサービスなどの環境的側面を購入者に伝える文言やシンボル、図形などを幅広く指す用語。

気候変動…1,7,8,10,22,23,24,26,49,50,115,134,135,136,137

気温および気象パターンの長期的な変化のこと。その要因は人為的な要因(温室効果ガスの増加、森林破壊など)のほか、自然的な要因(太陽活動の変化や大規模な火山噴火など)もある。

貴重・希少生物…33, 34, 39, 167

貴重・希少生物とは固有性、希少性、立地依存性、脆弱性や学術上の重要性などからみて貴重と考えられる生物種を指す。開発を含む環境変化に弱い種が多く、これらを保全することが種の多様性保全につながる。

給水人口…22, 87

水道局などが管理する水道施設から、実際に飲み水などの供給を受けている人の数。地域のインフラ整備の状況を把握するための基本的な指標。

高度処理…21, 41, 91

通常の有機物除去を主とした二次処理で得られる処理水質以上の水質を得る目的で行う処理のこと。

国連環境計画…9, 135

地球環境の保護を目的とし、国際協力を進める国連の機関。温暖化対策や生物多様性の保護など幅広い活動を行っている。

昆明・モンリオール生物多様性枠組…7, 134, 135, 137

2022(令和4)年12月にカナダのモンリオールで開催された生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)で採択された、2030(令和12)年までに達成すべき新たな生物多様性に関する世界目標。

さ行

サプライチェーン…52, 138

商品の企画・開発から、原材料や部品などの調達、生産、在庫管理、配送、販売、消費までのプロセス全体のこと。

市街化区域…17, 20, 89

街を計画的に発展させるため、すでに建物が立ち並んでいる場所や、これから10年以内に優先的に家やビルを建てるように進める区域である。

市街化調整区域…89

都市が無秩序に広がるのを防ぐため、原則として建物の建築や宅地開発を厳しく制限している区域。自然環境や農業の保全を優先するためのエリア。

自然資本…9, 10, 25, 45, 138

森林、土壌、水、大気、生物資源など、自然界で発生する資源のストック(資本)のこと。自然環境を市民の生活や企業の経営基盤を支える重要な資本の一つとして捉える考え方が注目されている。

自然被覆面…78

アスファルトではなく、土や植物など自然の状態で覆われた地面。雨水を吸収して洪水を防いだり、気温の上昇を抑えたりする役割がある。

自然を基盤とした社会課題の解決(NbS)…5, 7, 135, 136

健全な自然生態系が有する機能を活かして社会課題の解決を図ること。洪水対策や温暖化などの社会課題に対し、自然が持つ本来の力を活用して解決を図るものである。

指標生物…43

特定の環境条件や生態系の健康状態を示すために利用される生物のこと。

循環共生型社会…10, 137

環境収容力を守り、環境の質を上げることによって成長・発展できる社会。「循環」は環境収容力を守る「循環を基調とした経済社会システム」を指し、「共生」は人・生きもの・環境が密接に結びつき、お互いに影響を与え、人が生態系・環境の健全な一員となっている状態を指す。

新興感染症…23

1970年代以降に新たに確認され、局地的または国際的に公衆衛生上の問題となる感染症を指す。

水源かん養林…40, 41, 47

水源の周辺に位置し、雨水を貯える機能や洪水を緩和する機能、水質を浄化する機能を有する森林。

生態系サービス…1, 10, 14, 24, 25, 26, 50, 69, 70, 77, 136, 137

私たちが生物多様性から受ける恵み(自然の恵み)のこと。栄養塩類の循環や土壌形成、光合成などの「基盤サービス」、気候の安定や水質の浄化などの「調整サービス」、食料、水、木材、繊維、燃料などの「供給サービス」、レクリエーションや精神的な恩恵を与える「文化的サービス」がある。

生物生産性…21, 41

生物の成長や繁殖等の生産過程における生産量や生産力等を概括した語句。

生物多様性…1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 14, 15, 16, 18, 19, 21, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 59, 61, 62, 63, 65, 69, 77, 84, 85, 102, 103, 105, 124, 126, 127, 128, 129, 130, 131, 132, 133, 134, 135, 136, 137, 138, 139, 152, 161, 162, 163, 166, 167, 168

生きものたちの豊かな個性とつながりのことで、多くの種類の生きものが互いにつながり、直接的・間接的に支え合いながら生きていることを指す。

生物多様性条約…1, 5, 135

地球上の多様な生きものを守り、自然の恵みを将来にわたって持続的に利用すること、利益を公平に分けることを目的とした国際的な約束。

生物多様性と気候変動に関する IPBES-IPCC 合同ワークショップ… 135

気候変動と生物多様性の危機が相互に関連していることを認識し、両問題を統合的に解決するための科学的知見をまとめるために開催された専門家会議。

た行

多自然川づくり…41

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うこと。

特定外来生物…28, 30, 33, 39, 43, 99, 100, 101, 102, 103, 167

外来生物(海外起源の外来種)であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定された生物。

な行

ネイチャーポジティブ…5, 7, 9, 10, 25, 38, 45, 127, 135, 136, 138

自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、回復に転じさせるという考え方。

は行

バックキャスト…6

将来の理想像を描き、そこから今何をすべきかを逆算して考え、戦略的な目標設定を行う手法。現状から将来を予測するフォアキャストと対照される。

パリ協定…7, 134, 135

2015(平成 27)年に採択された、地球温暖化を防ぐための国際的なルール。世界の平均気温の上昇を産業革命前と比べ 2 度未満に抑えることを目標として掲げている。

ヒートアイランド現象…23, 78, 136

人工排熱の増加や緑地の減少などにより、都心部の気温が上昇し、郊外と比較して高くなる現象。

富栄養化…77, 91

閉鎖性の水域において、窒素・リンなどの栄養塩類を含む物質が流入し、栄養塩類濃度が高まること。これらを取りこみ成長する植物プランクトンなどの生物の活動が活性化し、異常増殖などを引き起こしやすくなる。

ま行

みどりのネットワーク…16, 17, 42

野生生物の移動経路を確保し、生育・生息地の拡大や分断された個体群の相互交流を促すことを目的とした、動物の移動に配慮した連続性のある森林や緑地等。

や行

有機汚濁…77, 91

有機物によって汚濁がすすむこと。海域における有機汚濁は、流入する有機物と窒素・リンに起因する植物プランクトンの増殖に由来する有機物から形成される。

ら行

流入負荷…91, 92, 93

流域から海域に流入する汚濁負荷。COD 流入負荷、窒素流入負荷、リン流入負荷などがある。

緑被面積…20, 28, 40, 89, 167

ある一定の区域内で、植物の葉や茎などが地面を覆っている部分の面積。樹木や芝生、農地などが含まれ、自然の豊かさを示す指標の一つ。

緑被率…14, 20, 89, 140, 144

対象となる土地全体の面積に対し、緑（樹木や草花）が地面を覆っている面積が占める割合。一般的に都市の快適さや環境の良さを評価する際に使用される。

英数字

ASPT 値…33, 39

水質状況に周辺環境も合わせた総合的河川環境の良好性を相対的に表す指数。環境省「水生生物による水質評価法マニュアル」（2017（平成29）年3月）において、全国の河川の調査結果をもとに設定された平均スコア階級は、7.5 以上は「とても良好」、6.0 以上 7.5 未満は「良好」、5.0 以上 6.0 未満は「やや良好」、5.0 未満は「良好とはいえない」とされている。

BOD

（Biochemical Oxygen Demand: 生物化学的酸素要求量）…21, 93, 96, 97

水中の有機物が微生物によって分解される際に消費される酸素量のこと。河川の水質汚濁を測る代表的な指標。数値が大きいくほど水中に有機物が多く、水質汚濁が進んでいることを示す。

COD

（Chemical Oxygen Demand: 化学的酸素要求量）…40, 91, 93, 94, 95, 97

海水や河川、底泥の有機汚濁の原因となる有機物などによる汚れの度合いを示し、数値が高いほど、水中や底泥中の有機物量が多いことを表す。本戦略における「COD」は水中の COD である、酸化剤の過マンガン酸カリウムを使って水中の有機物を酸化させ、消費された酸素量を測定する CODMn を指しており、一般的に mg/L という単位で表示される。なお、水中と底泥中の COD が区別できるように、底泥中の COD は「CODsed」と記載しており、一般的に mg/g や mg/kg という単位で表示される。

COP (Conference of the Parties: 締約国会議) …7, 134

条約を締結した国々による会議。生物多様性条約や気候変動枠組み条約などの国際条約の最高意思決定機関となる。生物多様性条約の締約国会議は、おおむね 2 年に 1 回開催される。

DID (人口集中地区) …19, 82, 83

人口密度が高い地区のこと。4,000 人/km²以上の区域が隣り合い、合計人口が 5,000 人以上の場所を指し、都市計画や統計で街の広がりを測る基準となる。

GX (Green Transformation) …138

温室効果ガスの排出削減と経済成長の両立に向けた社会変革の取り組み。

IPBES…1, 10, 135

生物多様性と生態系に関する科学的知識をまとめ、政策決定者に情報提供を行う国際組織。侵略的外来種や生物多様性の持続可能な利用を含む 18 の成果物の完成を目指し作業が進められている。

IPCC

（気候変動に関する政府間パネル）…135

地球温暖化について、最新の科学的知識を集めて報告する国連の組織。世界各国の政府が温暖化対策を決める際の重要な根拠を提供している。

SDGs

(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)

…7, 34, 127, 134, 135

持続可能な開発目標。2030(令和 12)年までに地球上の「誰一人取り残さない」より良い世界を作るための 17 の目標を掲げている。

TNFD(自然関連財務情報開示タスク フォース) …128, 138

企業が自然環境に与える影響やリスクを調査し、報告するための国際的な枠組み。投資家が企業の環境への取り組みを評価する指標になり得る。

T-N(全窒素) …40, 91

無機態および有機態の窒素化合物の総量。総窒素ともいう。有機態窒素は、生物の構成要素のタンパク質に主として含まれるものであり、生物自身または生物の排泄物中に含まれる。生物中の窒素は、その生物が底生生物であれば、直ちに水中から除去され、プランクトンでも沈降するため水中から除去される。しかし、生物自身がアンモニアとして窒素を放出したり、生物の遺骸や排泄物の分解により再び無機化して水中に戻ったりする。水の富栄養化の程度を表す指標の一つであり、環境基準や排水基準が定められている。一般的に mg/L や $\mu\text{M}(=\mu\text{mol/L})$ という単位で表示される。

T-P(全リン) …40, 91

有機態および無機態のリン化合物の総量。総リンともいう。全窒素と同様に、有機化することにより生物体として水と異なる挙動を示す。水の富栄養化の程度を表す指標の一つであり、環境基準や排水基準が定められている。一般的に mg/L や $\mu\text{M}(=\mu\text{mol/L})$ という単位で表示される。

30by30(サーティ・バイ・サーティ) …5, 7, 9, 10, 23, 24, 43, 45, 136

2030(令和 12)年までに、陸と海の 30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標。2022(令和 4)年 12 月の「昆明・モントリオール生物多様性枠組」に盛り込まれた 2030 年グローバルターゲットの一つ。

資料2 福岡市の生物多様性に関わる基礎情報

1 歴史の中で培われてきた福岡市の個性

(1) 地理的概況

福岡市は東経 130 度 24 分、北緯 33 度 35 分にあり、九州北部、福岡県の西部に位置しています。朝鮮半島とは対馬海峡を挟み約 200km であり、日本の中でも大陸のアジア諸国と近い位置にあります。

対馬海峡は水深が 130m 程浅く、過去の寒冷期に海水面が低下した際、大陸と陸続きになっていました。そのため、福岡は大陸から日本へ入る北方系の生きものの通り道となっていました。例えば、中国や朝鮮半島に広く分布する魚「ヒナモロコ」が、日本では九州北部にしかないことは、大陸と福岡が陸続きであったことの証明であると言われています。

博多湾は、東西に約 20km、南北に約 10km、面積約 133km² の内湾となっており、

玄界灘とは西浦～玄界島、玄界島～志賀島の 2 箇所の開口部を通じてつながっています。海の中道から志賀島にかけて形成された砂州は、玄界灘の荒波を防ぎ、博多湾を天然の良港としています。

これらの地理的特性は、古くからのアジアとの交流、貿易拠点としての発展に深く関与しているだけでなく、国内有数の鳥類の渡りの中継地・越冬地として機能するなど、生きものにとっても重要な移動拠点となっています。

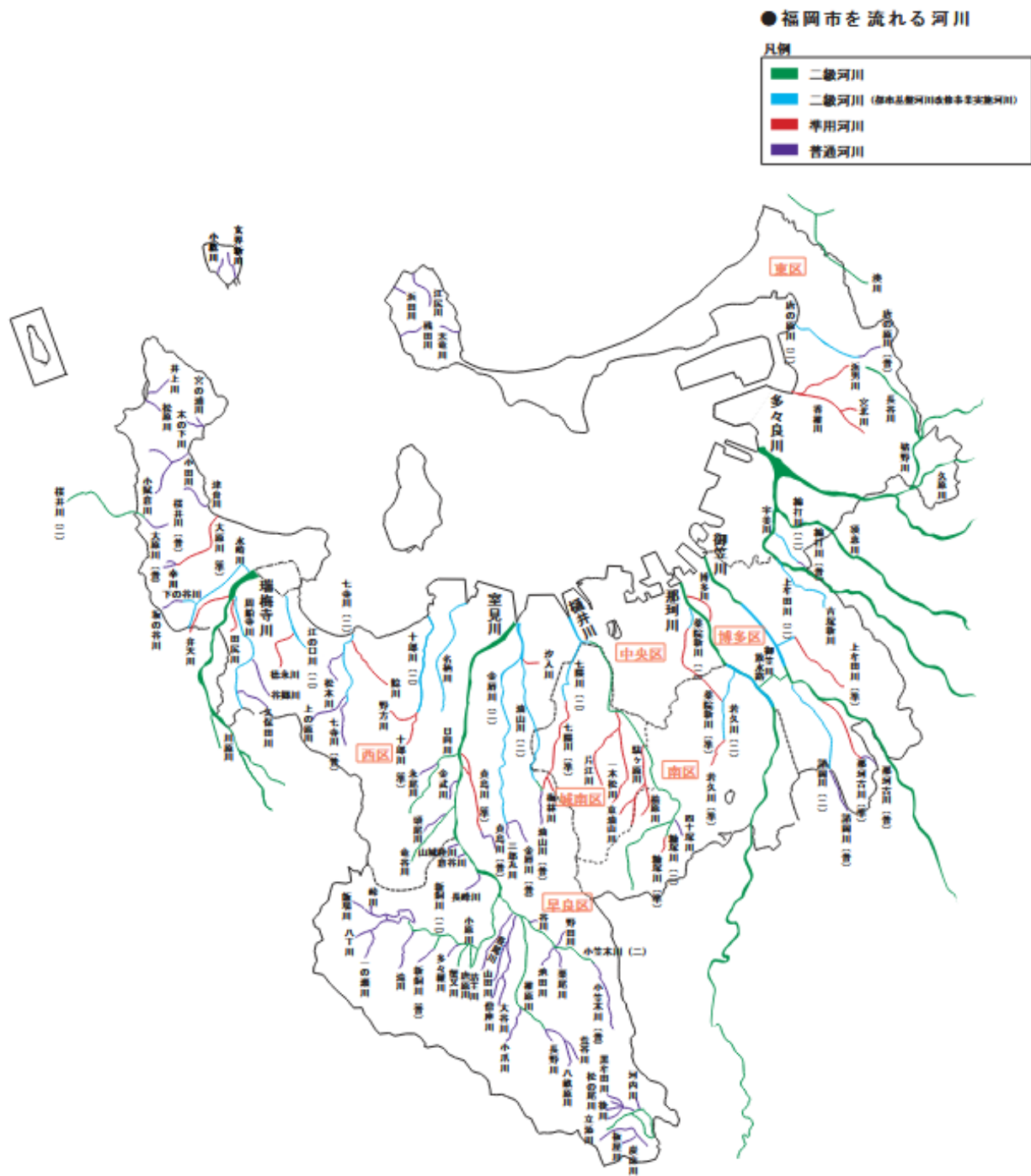
福岡市が位置する九州北部は、浅海が広がり、陸域から豊富に栄養塩類が供給される豊かな海に恵まれています。冬季には季節風が吹き付ける日が多いものの、全般的に温暖で湿潤な気候によって豊富な降雨がもたらされ、山から河川、海への水の循環が、多くの生きものの基盤を形成しています。

また、福岡平野は脊振山地や三郡山地に囲まれ、多々良川、那珂川、室見川など多くの河川が流れる半月型の沖積平野となっています。北は玄界灘に臨む海拔 0m の沿岸部から、南の脊振山地の高地まで 1,000m の標高差がある多様な地形は、気候や植生の異なる多様な環境を形成し、豊かな自然の恵みをもたらしています。



図 1 福岡市の位置

福岡市の河川は、水源から河口までの距離が短く、河川勾配も急なため、降った雨は、海域へと早く流出してしまいます。また、市街地が河口に近く潮の干満の影響を受ける感潮区間であるため、河川の流下能力が潮位の影響を受け易くなっています。



出典:福岡市道路下水道局「福岡市の河川」(2024(令和6)年度)

図 2 福岡市の代表河川位置図

(2)福岡市の成り立ち、歴史

① 縄文時代～弥生時代

瑞梅寺川河口一帯には、縄文時代後期から弥生時代前期にかけての貝塚が分布しており、土器やイノシシ、シカなどの獣骨、ウミニナ、ハイガイ、マガキなどの貝類、アジ、スズキ、イワシ、タイ類などの魚骨が出土しています。土器の底にはドングリの圧痕が残っており、当時の主食はドングリなどの堅果類であったと推測されます。この時代の人々は、春から夏にかけては貝を採取する漁労生活を中心とし、秋から冬にかけてはイノシシやシカを山野で捕獲する生活を営んでいたと考えられます。

本市は、朝鮮半島や中国大陸に近いという地理的条件に恵まれ、古くから大陸文化の受入窓口としての役割を果たしてきました。志賀島で発見された「金印」は、1世紀頃における大陸との交流を示す確かな資料です。

また、本市一帯には弥生時代の遺跡が数多く分布しており、初期の水田や集落の跡を確認することができます。多くの河川や低湿地帯が存在する本市一帯では、大陸から伝わった農耕技術が早くから発達し、集落が形成されていたものと考えられます。

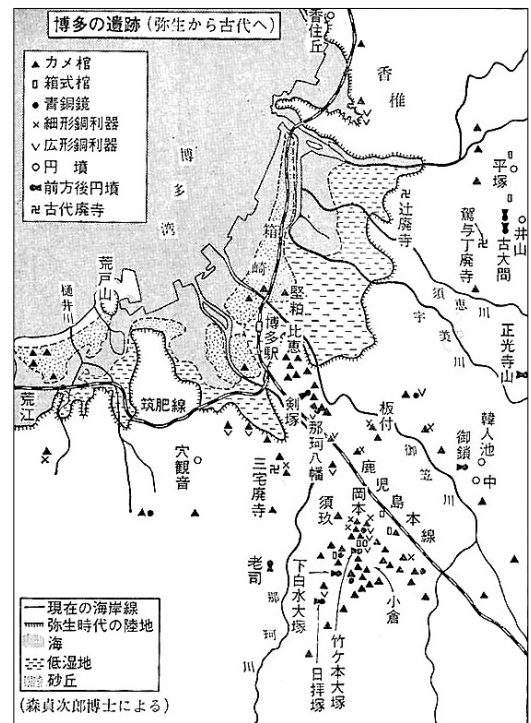
これらの遺跡からは、当時の人々が本市の豊かな自然環境を背景に、その自然を利用・開発しながら、生物多様性の恵みを最大限に活用して生活していた様子がうかがえます。この地が早くから開けたのは、新鮮な食料が豊富に得られ、気候も温暖で、人々にとって暮らしやすい土地であったためと考えられます。

② 古代～近世

大陸との交流が盛んであったこの地は、さまざまな権益を伴う外来文化が伝来する窓口として、古くから政治的に重要な拠点とみなされてきました。

7世紀から11世紀にかけては、アジアの人々をもてなす迎賓館である「鴻臚館」が交流の拠点となり、中世には海外の商人が多く住む、日本を代表する国際貿易都市へと発展しました。16世紀には、博多の大商人が利を求めて海を渡り、海外交易を行っていました。

1587(天正14)年には、九州を平定した豊臣秀吉が博多の町を再興し、「太閤町割(たいこうまちわり)」と呼ばれる都市計画を実施することで、現在の博多の町の原型を築きました。さらに、博多を自由都市「楽市」に指定したことにより、「博多」は堺と並ぶ商都として発展しました。



出典:朝日新聞社「筑紫ものがたり 博多二千年史」
(1967(昭和42)年)

図3 弥生から古代にかけての遺跡の分布

江戸時代になると、武士の町「福岡」が誕生し、商人の町・博多は伝統工芸や芸能の町として、城下町・福岡は武士文化を伝える町として、それぞれの役割を持ちながら、本市は双子都市として発展してきました。

この時代の遺構からは多くの動物の骨が出土しており、人々が生物多様性の恵みを活用しながら生活していた様子がうかがえます。食料としては、近隣の海や河川で採取された貝類が大量に出土しているほか、マダイやクエ、マグロ類などの魚類、イルカやクジラなども利用されていました。また、シカやウシなどの哺乳類や鳥類は、骨や角を加工した骨角器として用いられ、かんざしやへら、ボタンなどの服飾具のほか、刀の柄頭や鍔といった武具、双六の駒などの遊戯具、物差しなどの計量具、耳かきやブラシといった衛生具などが出土しています。

③ 近現代

本市が九州地方で最多の人口をもつ都市となったのは、1940（昭和 15）年になってからです。これは、博多湾の築港が 1937（昭和 12）年に完成し、貿易が活発化するとともに、戦時中、大陸に通じる軍需拠点として注目され、行政及び経済統制の中心として重要な位置を占める都市となったことが大きな要因です。

④ 現在の情勢

本市は、中央政府機関や大企業の支店、外国公館、金融・サービス業が集積し、国連機関も開設されるなど、九州・西日本の拠点都市として発展を続けています。九州大学をはじめ多くの大学が立地している特性を活かし、研究者や企業の連携・交流を促進することで、新たな事業・産業の創出や地場企業の活性化、企業・研究機関の立地促進に取り組んでいます。

市内総生産の約 9 割を第三次産業が占めており（2021（令和 3）年度）、商業都市としての性格が強まっています。スタートアップ支援にも注力しており、2023（令和 5）年度の開業率は 21 大都市中 1 位となっています。九州の中核都市として、福岡都市圏での連携をはじめ、北九州市や鹿児島市、熊本市など周辺都市との連携を進めています。

また、東アジアに近い地理的特性を活かし、「福岡・釜山超広域経済圏」の形成など、アジアビジネスや九州・西日本の中核機能集積に向けた取組みを進めています。福岡空港、会議施設、市街地が近接し、伝統的な神社・仏閣から先端的な商業施設までがコンパクトに集積している点も本市の特色です。

本市は、海・山・川に恵まれた自然環境のもと、生物多様性の恩恵を受けながら古くから人々が定住し、発展してきました。大陸文化の受入窓口として商業都市として栄え、多様な文化との交流を通じて、開放的で新しいものを生み出す気質が育まれてきたと考えられます。

さらに、アジアと国内各地を結ぶゲートウェイとして重要な役割を担っています。福岡空港の 2024（令和 6）年度の国際線乗降客数は約 851 万人で国内第 4 位となり、博多港も国際貿易港としてアジアを中心に高い交流実績を有しています。

一方で、再開発の進展や税収増加が見られる中、人手不足や後継者不足といった課題も顕在化しています。

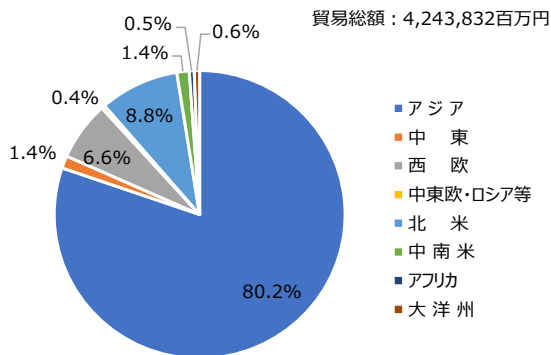


図 4 博多港の地域別輸入先 (2023 年)

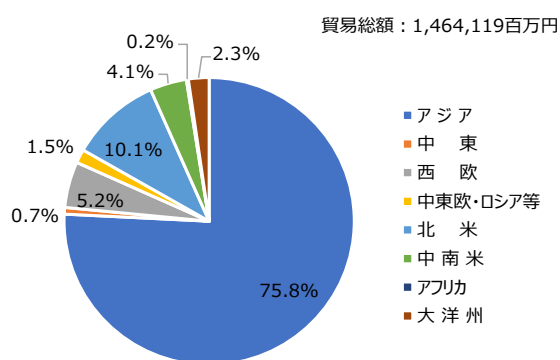


図 5 博多港の地域別輸出先 (2023 年)

資料:福岡市統計書

(3)祭り・伝統芸能

生物多様性の恵みを楽しみながら暮らしてきた歴史が、福岡市の民俗文化を形成しています。東区の筥崎宮で行われる「放生会(ほうじょうや)」は、「博多どんたく港まつり」、「博多祇園山笠」と並ぶ博多三大祭りの一つとして多くの観光客を集める祭りです。放生会とは、仏教の殺生戒に基づき、文字どおり生きものを放ち供養する祭儀で、実りの秋を迎えて海の幸・山の幸に感謝する、収穫祭・感謝祭の意味も含めた祭りとして、地域に継承されています。その他、福岡市の祭りや伝統芸能の中には、五穀豊穡を祝う奉納舞や、豊作を祈願して行われる行事など、農林水産業が主体であった昔の人々の願いや思いから生まれたものが多数あります。

現在、市内で有形民俗文化財や無形民俗文化財に指定されている祭りや伝統芸能のうち、半数以上の行事が生物多様性の恵みに感謝する、または、生物多様性の恵みを願った行事であると考えられています。

表 1 生物多様性と関連がある福岡市の祭り・伝統芸能

行事	目的	概要	備考
飯盛神社 祈念地祭 奉納神楽	五穀豊穡、無病息災、 子孫繁栄	豊前市大字久路土の清水八幡神社に伝わる神楽を伝承した黒土神楽が奉納されている。	指定なし
飯盛神社の かゆ占	豊作の吉凶占い	小正月の朝神前に粥を供えて、半月後にそれを下ろし、表面に生えたかびの状態によって、その年の農作の吉凶を占う。現在は、2月14日に実施。	福岡県指定無形民俗文化財
飯盛神社 流鏝馬行事	五穀豊穡・武運長久・ 無病息災	旧早良郡一帯で信仰をあつめた飯盛神社で10月9日の秋季大祭(くにちまつり)において、五穀豊穡・武運長久・無病息災を祈って行われてきた伝統行事。	福岡市指定無形民俗文化財
石釜の トビトビ	豊作や雨乞いの祈願を 込めた行事ではないか とも考えられているが、 目的は不明	小正月に行われる来訪神行事。(2023年以降、社会状況等の影響により休止状態が続いている)	福岡市指定無形民俗文化財
今宿青木 獅子舞	五穀豊穡の祭典や落成式の際の奉納	怡土城を築城した祝いに、青木地区の住民が獅子舞を奉納したのが始まりと伝えられている。	福岡市指定無形民俗文化財

行事	目的	概要	備考
今津の 松ばやし	豊作豊漁	成人の日、貢ぎ物に見立てた張り子の人形や短冊を山車にのせて各町内を曳き回す。いつの時代から、神輿や「通りもん」が加わり、神事と結びついたかは不明。	指定なし
宇田川原 豊年獅子舞	豊作祈願	春に豊作を祈願し、獅子舞が演じられる。	福岡市指定 無形民俗文化財
草場の 盆綱引き	地獄の亡者を救い出す行事、豊凶を占う行事、無病息災を祈念する行事、畠作の収穫を水神に感謝する行事などの諸説あり	8月15日に行われる草場の盆行事の一つ。綱引きの勝敗に特別の意味はなく、その後、精霊送りを行い、以前は子ども相撲、盆踊りと行事が続いた。	福岡市指定 無形民俗文化財
志賀海神社 神幸行事	無病息災、五穀豊穡	志賀海神社は綿津見(わだつみ)三神を祭り、長く海の守護神として北九州海辺の信仰を集めた古社だが、神幸行事は神社最大の祭礼となっている。	福岡県指定 無形民俗文化財
志賀島の 盆踊り	一般に、精霊をなぐさめ、それを送ることのほか、たたりをする精霊を追いやる目的や、豊作の祈りなども併せて込められていると伝承	20年ほど前までは志賀島所在の荘厳寺から踊り始め、その後初盆の家を回るなどして、8月13日～17日まで踊っていたが、現在では島の入り口にある渡船場横の広場で、16日・17日に踊られている。	福岡市指定 無形民俗文化財
城の原の 盆踊り		8月14・15日に行われる城の原の盆行事は、かつては盆踊り・盆押し・盆綱引きの一連の行事からなっていたが、現在は盆踊りが行われるのみ。	福岡市指定 無形民俗文化財
住吉神社の 力石	豊凶・天候・武運等の神意を伺う石占の信仰に由来	力石とは力だめしをする石のことだが、その由来は神霊の依坐である石を持ち上げることで豊凶・天候・武運等の神意を伺う石占の信仰に遡ると言われている。住吉神社の力石は、境内の左側に台の上のせて置かれている。	福岡市指定 無形民俗文化財
田隈の 盆押し・ 盆綱引き	地獄の亡者を救い出す行事、豊凶を占う行事、無病息災を祈念する行事、畠作の収穫を水神に感謝する行事などの諸説あり	8月15日、野芥二・三丁目の町内が中心になって氏神地緑天神社に奉納する伝統行事。	福岡市指定 無形民俗文化財
田島神楽	干ばつ予防のための万年願	早魃予防のため、毎年樋井川沿いの薦ヶ淵に捧げた人身御供に代えて神楽を奉納し、万年願として今日まで伝えられている。	福岡市指定 無形民俗文化財
能古島 白鬚神社 おくんち行事	五穀豊穡	10月1日、4日、8日、9日に島内の江の口・東・西北浦の4集落で行われる例祭。	福岡市指定 無形民俗文化財
筥崎宮 神幸行事	無病息災、五穀豊穡	筥崎宮で行われる放生会の期間中に、西暦奇数年9月12日～14日に500名前後の行列で巡幸する。放生会は「万物の生命をいつくしみ、殺生を戒める」という神事。	福岡市指定 無形民俗文化財

行事	目的	概要	備考
筥崎宮 玉せせり行事	豊作・豊漁の吉凶占い	筥崎宮玉せせり行事は、福岡市東区の筥崎宮で毎年1月3日に行われる年頭の恒例行事である。遅くとも江戸時代中期以前には実施されていた。筥崎宮一の鳥居から 200メートルほど北に位置する同末社・玉取恵比須神社に、玉洗いの儀式を済ませた陽珠と陰珠の2つの木玉が運ばれた後、競り子と呼ばれる氏子たちが、陽珠に群がり、奪い合うように筥崎宮楼門までの道を進み、回廊内の神職に玉を納める。これを納めた競り子の属す地域は、その年の豊饒に恵まれるという。	福岡市指定 無形民俗文化財
元岡 祇園ばやし	五穀豊穰、無病息災、 家内安全	7月14日と15日に行われる八坂神社の祇園祭で奉納される。明治初年、拝殿に人形や岩石花木などの飾り付けをして上演していたが、日中戦争以降中断。1965(昭和40)年に囃子だけが復活して現在に至っている。	福岡市指定 無形民俗文化財
元岡獅子舞	五穀豊穰、無病息災、 家内安全	青木・宇田川原と同型の旧糸島・早良郡下に流布していたとみられる演劇的要素の強い獅子舞。7月14日と15日の八坂神社の祇園祭で奉納される。また、不定期に上棟式・厄祝いなどに奉納されている。	福岡市指定 無形民俗文化財
山ほめ祭り	狩漁の御祭	以前は旧暦2月15日、11月15日の春秋2回行われていたが、現在は春を「山誉種蒔漁獵祭」、秋を「山誉漁獵祭」と称し、4月15日と11月15日に行っている。神功皇后が三韓出兵の途次、対馬豊浦に滞在中、志賀の海士が海山の幸で饗応したという伝説にちなむ行事。	福岡県指定 無形民俗文化財

(4) 娯楽

福岡市では、昔から自然の風景や生きものなどの自然的要素が、都市に住む人々の娯楽の重要な要素となっています。博多湾の広大な松原である千代松原は、古くから筥崎宮の神木の松の木として大切にされ、室町時代の連歌師 宗祇^{そうぎ}も旅行記でその美しさを称えた名所です。1587(天正15)年の豊臣秀吉の九州出兵では、博多商人も招かれた千利休の茶会が催されており、江戸時代には福岡藩に保護されていました。

愛宕神社のある愛宕山は、貝原益軒の「筑前国続風土記」に『海陸山川のながめ廣くして勝れたる佳景地。大國に郊たる故に遊覧する人多し。』とされており、江戸時代の人々が多く訪れ、景観を楽しんでいたことがうかがえます。

荒戸山も同「筑前国続風土記」に山頂からの景色が『誠にたぐひすくなき佳境なるべし』として、天橋立や巖島、和歌浦、須磨、吉野などとも『ならべかたし』と評されています。麓には、江戸時代に徳川家康を祀る東照宮が建てられており、奥村玉蘭の「筑前名所図絵」にも描かれています。

能古島、志賀島は、江戸時代まで野生の鹿が生息し、殿様の狩り場となっていました。武士にとって、鹿狩りは、娯楽であるとともに軍事訓練の場でもありました。

(5)食文化

福岡市は、北は玄界灘に臨み、南には広大な福岡平野がひかえる地理的特性から、海の幸・山の幸が豊富にあり、それらが陸路水路を通じ行き交い、新鮮な食材が毎日手に入る都市として発展しました。古くから庶民、商人は町の中でも季節感をもった食の暮らしを営み、豊かな食文化を築いてきました。

現在も玄界灘の海の幸をはじめとして、もつ鍋や博多ラーメンなどの多彩な食の魅力を備えています。伝統的な食文化としては、博多雑煮、あぶってかも、がめ煮、水炊きなどの郷土料理があり、シロウオやごまさばなどの新鮮な食材が手に入るからこそ食される料理も多くあります。

博多雑煮、がめ煮、水炊き、博多うどんなどは、大陸の文化を上手に取り入れ、地元の食材を使用し、日本風にアレンジしたものです。歴史的背景から形成された発想力の柔軟性に富んだ博多の人の特質が表れた料理であるといえます。

農産物については、博多の食文化と密接にかかわりながら地方独特の品種が栽培されてきました。例えば、「かつお菜」は博多野菜の一つで、福岡の雑煮には欠かせない具材です。他には能古島で生産されている「甘夏」や、やわらかく甘みが強い「博多かぶ」などがあります。また、近年では、福岡ブランドであり県内でしかつくられていない希少なイチゴ「博多あまおう」や郷土料理であるがめ煮や水炊きのために誕生した「はかた地どり」、その他「和白白ネギ」、「博多和牛」、「唐泊恵比須かき」などの農林水産物が福岡の味覚として親しまれています。



写真提供:まるごと福岡・博多(福岡市)

図 6 福岡市産の農産物(左:かつお菜、右:博多あまおう)

(6)人とのかかわりの中で形成された多様な自然

現在、目にする「自然」の多くは、古くから人々が自然環境に働きかけ利用してきたもので、それにより多様な自然が形成されてきました。

① 松並木

現在も、生の松原には、「白砂青松百選」の一つにも選ばれている白砂と松林の美しい景観が広がっています。現在はなくなってしまいましたが、百道の松原や地蔵松原など、かつては博多湾の海岸線に沿って松林が続いていました。

しかし、これらは自然に形成されたものではなく、江戸時代に防砂や防風を目的として組織的に植林が進められた結果、形成されたものです。当時、こうした松原では、付近の住民によって松葉かきが行われ、集められた落ち松葉は燃料として利用されていました。砂浜の背後の松林は自然の景観のように見えますが、これらも人為的に維持されてきたものです¹。

② 里山

現在、市内にある林の多くは、古くから薪炭林として利用されてきた里山です。里山は、木材の供給源としてだけでなく、落ち葉や下生えを田畑の肥料として利用する場、また食料採集の場としても活用され、持続的な自然資源の利用・管理の仕組みが成立していました。

かつてはアカマツ林が薪炭林や用材林として、各地の山麓や丘陵部に広く見られ、植林された林も多くありました。しかし、アカマツの用途がなくなり、手入れもされなくなった現在では、潜在植生である照葉樹林へと遷移が進み、また松くい虫の被害もあり、アカマツ林は衰退してその多くが姿を消しています。林は、里山として人に利用されることで、多様な植生が維持されていたのです。

③ ため池

弥生時代から古墳時代にかけての遺跡からは、井堰や貯水池の構築物などが発見されており、稲作農業の広がりとともに、古くからため池が築かれていたことがうかがえます。現在残っているため池も、農業の発達に伴い、利水・治水を目的として築かれたものと考えられます。

南区にある野間大池は、「筑前国続風土記拾遺」にも記載があり、古くから農業用水や水害対策のため池として利用されていたようです。昭和の初め頃までは見事な蓮が一面に広がり、秋にはそこで採れた蓮根が村祭りのがめ煮に使われ、福岡の町でも販売されていました。また、フナ、ナマズ、ドジョウ、ウナギなどがよく獲れ、子どもたちの格好の魚捕り場にもなっていました²。

このように、ため池は本来の利水・治水の機能だけでなく、さまざまな生きものを育み、人々はそれらを上手に活用して生活してきました。

現在では、これらのため池が利用されることは少なくなり、住宅街の中に取り残されたものも多く見られますが、その中には動植物にとって重要な生育・生息地となっているものもあります。

¹ 日本の自然 地域編 7 九州、1995年、内嶋

² ふくおか歴史散歩 第二巻、1982年、福岡市

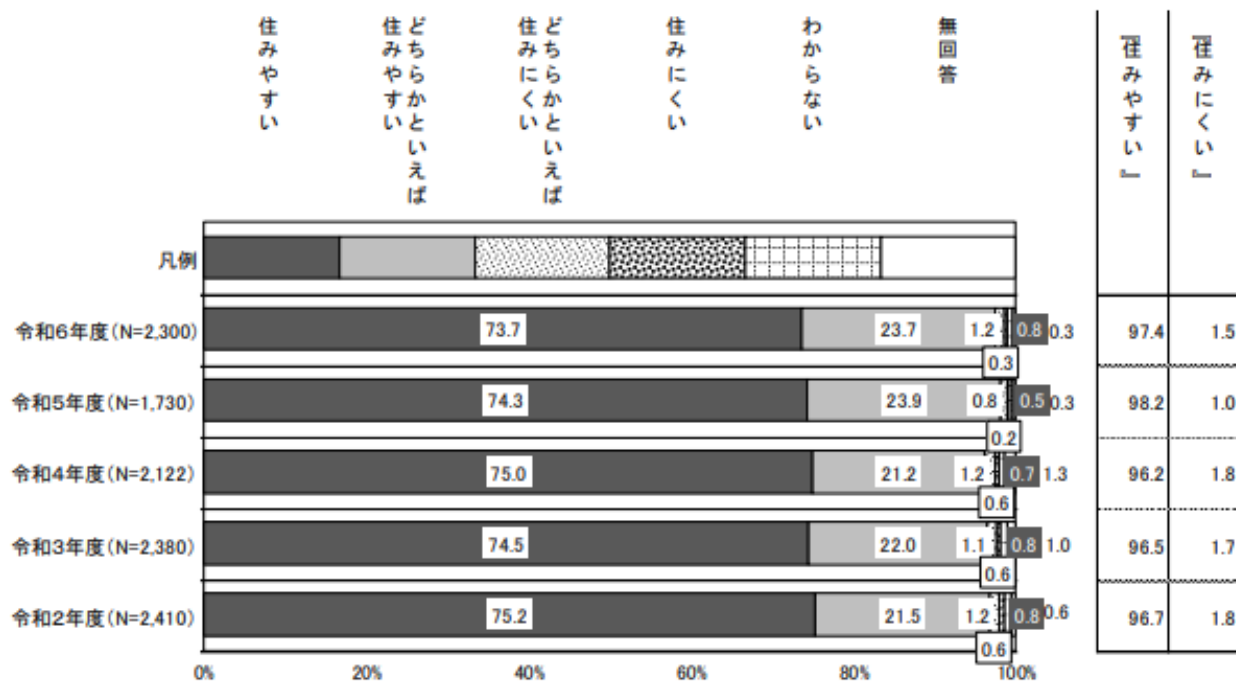
④ 鎮守の森

古くから商都として栄えてきた本市は人口も多く、江戸時代の里山は過剰利用の状況にあり、伐採されてしまった山もありました。

しかし、鎮守の森は信仰の対象であったため伐採されることなく、その時代にも豊かな緑を保ってきました。現在も市内に点在する鎮守の森は、周囲の林よりも一回り大きな大木が茂る林として、市街地における貴重な緑となっています。

(7) 市民にとっての福岡市の魅力

本市は「住みやすいまち」というイメージが定着しています。2024(令和6)年度市政に関する意識調査³においても、市民の97.4%が「住みやすい(どちらかといえば住みやすいを含む)」と回答しており、本市の「住みやすさ」があらためて実証されました。



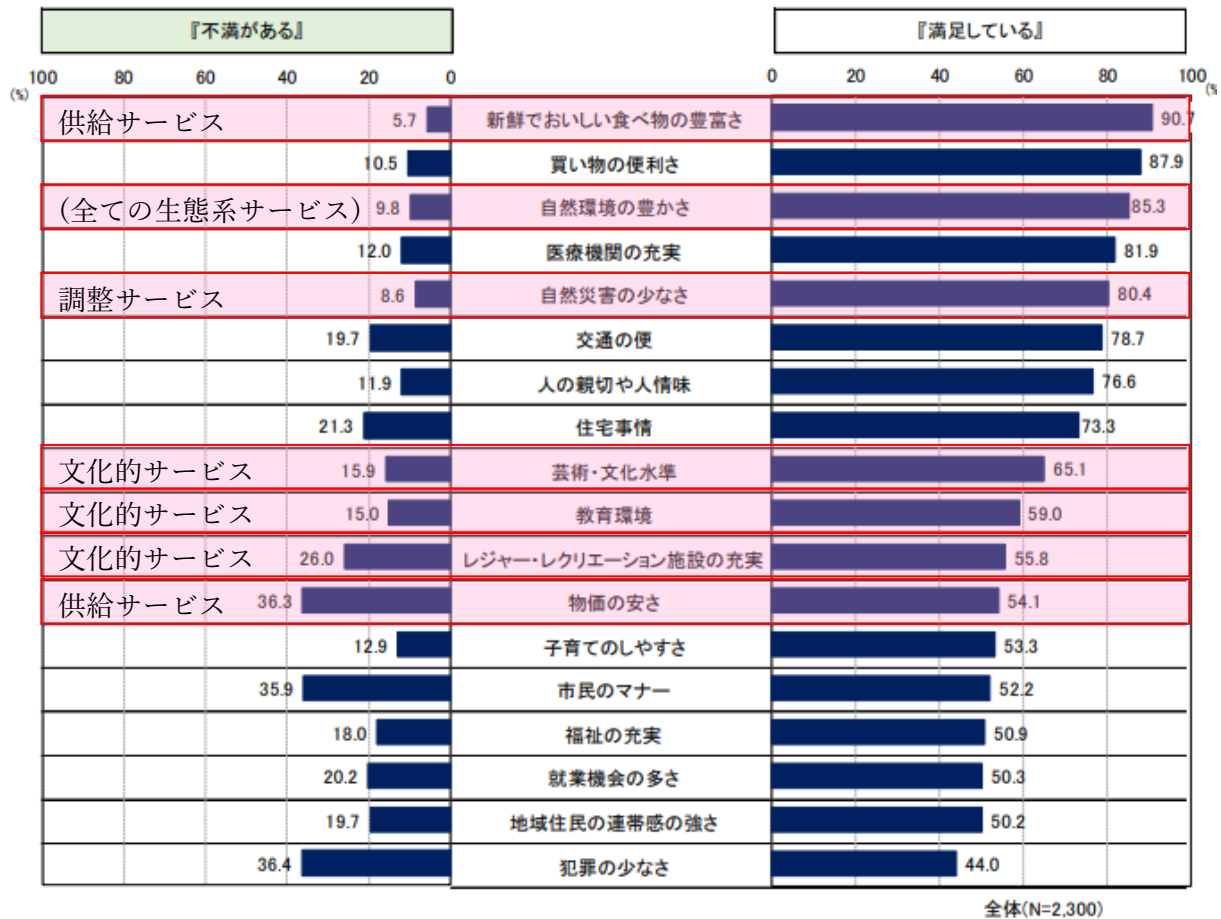
出典:令和6年度市政に関する意識調査

図7 総合的な福岡市の住みやすさ

³ 令和6年度市政に関する意識調査:2024(令和6)年6月21日から7月12日にかけて、市内に居住する満18歳以上の市民4,500人を対象に実施されたアンケート調査。回収率は51.1%。

同調査において、本市の都市環境についての満足度が把握されています。設問項目 18 項目すべての項目において、満足している人の割合が高いという調査結果が示されており、これらの要素が、本市の住みやすさの要因となっていると考えられます。

特に、「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」、「自然環境の豊かさ」、「自然災害の少なさ」、「芸術・文化水準」、「教育環境」、「レジャー・レクリエーション施設の充実」は、私たちが生物多様性から享受する恵み(生態系サービス)との関係性が強い項目です。



出典:令和6年度市政に関する意識調査

図 8 福岡市の都市環境についての満足度と生態系サービスの関係

(8)福岡市の魅力を支える生態系サービス

① 供給サービス

私たちは、供給サービスとして、農産物、畜産物、水産物、山菜などの野生の食物といった食料や、木材、バイオマス資源、さらには生活用水となる淡水など、生活に有用なさまざまな生産物を得ています。アンケートにおいて満足度の高い項目として示された「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」は、まさに供給サービスを象徴するものです。「物価の安さ」についても、生活に有用なさまざまな生産物を安価に入手できる環境にあるという点で、この供給サービスと関係しているといえます。

本市の農業は、いわゆる都市型農業が主体となっています。都市部での消費を見込んで鮮度が重視される野菜の生産が行われており、農業生産額では全体の 5,850 百万円(2023(令和 5)年)の約 4 割を占めています。「博多」を冠する博多あまおうや博多のトマトなどは、本市の主要農産物として広く親しまれています。なお、主要穀物である米の農業生産額は、全体の約 2 割を占めています。

さらに、本市から自動車でおおむね 1 時間圏内には、農産物の生産地であり漁業も盛んな糸島地域や宗像地域が位置しています。食料の一大消費地である本市には、これらの地域から新鮮な農産物や海産物が日々運ばれてきます。

また、本市は、九州有数の穀倉地帯である筑後平野(佐賀県、福岡県朝倉地域など)にも近接しており、これらの地域からも多くの農産物が供給されています。

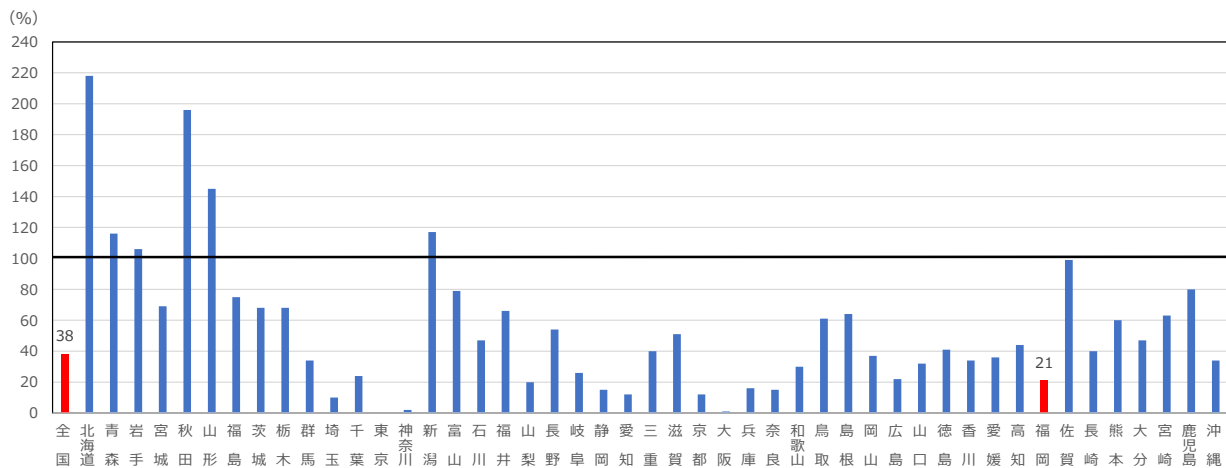
水産物については、本市は全国有数の取扱額を誇る博多漁港と、水産物流の拠点である鮮魚市場を有しています。水産資源の豊かな博多湾および玄界灘に面し、多種類の魚介類を沖合・沿岸域で漁獲しています。二双ごち網や刺網などによる漁業のほか、採貝、採藻、ノリ・ワカメ・カキの養殖も行われており、本市における沖合・沿岸漁業の生産額は 2,615 百万円(2022(令和 4)年)となっています。博多漁港の卸売価格(2023(令和 5)年)は 224 円/kg と、他の漁港と比較して安価であり、新鮮な海産物を手頃な価格で入手できることも本市の魅力の一つです。

「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」や「物価の安さ」という本市のイメージは、これらの農産物や水産物によるところが大きいと考えられます。

しかし、都道府県別の食料自給率(供給熱量ベース)を見ると、福岡県の食料自給率は 2022 年度時点で約 21%であり、我が国全体の食料自給率 38%の約半分にとどまっています。福岡県では、県民が消費する食料の約 8 割を移入品や輸入品で賄っている状況にあり、人口集積地である本市では、さらにその割合が高いことが推察されます。

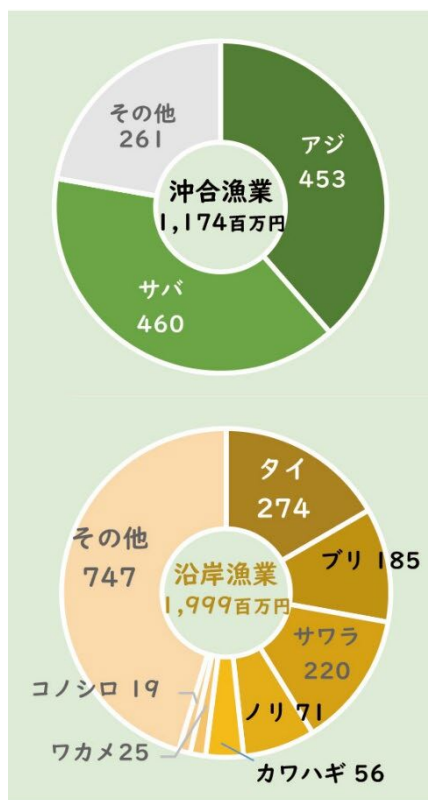
また、博多漁港で取り扱われる水産物についても、現在は他県からの陸上搬入が大きな割合を占めています。

このように、地元で生産される「新鮮でおいしい食べ物」は、必ずしも日常的な消費をすべて賄えるほどの生産量ではありませんが、本市のイメージ向上につながる重要な要素となっています。



出典:農林水産省「2022年度(推定値)都道府県別食料自給率等について」

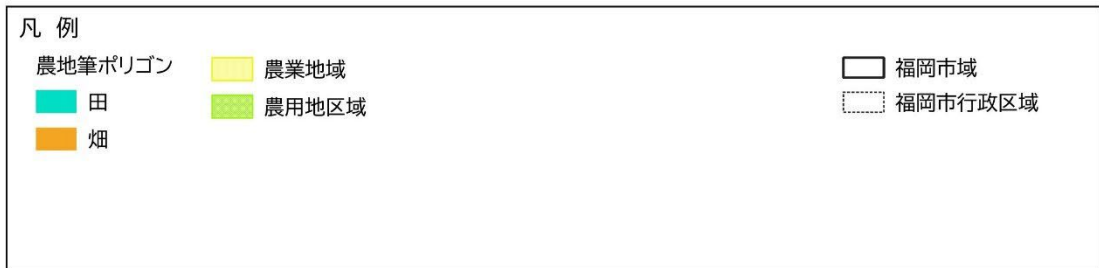
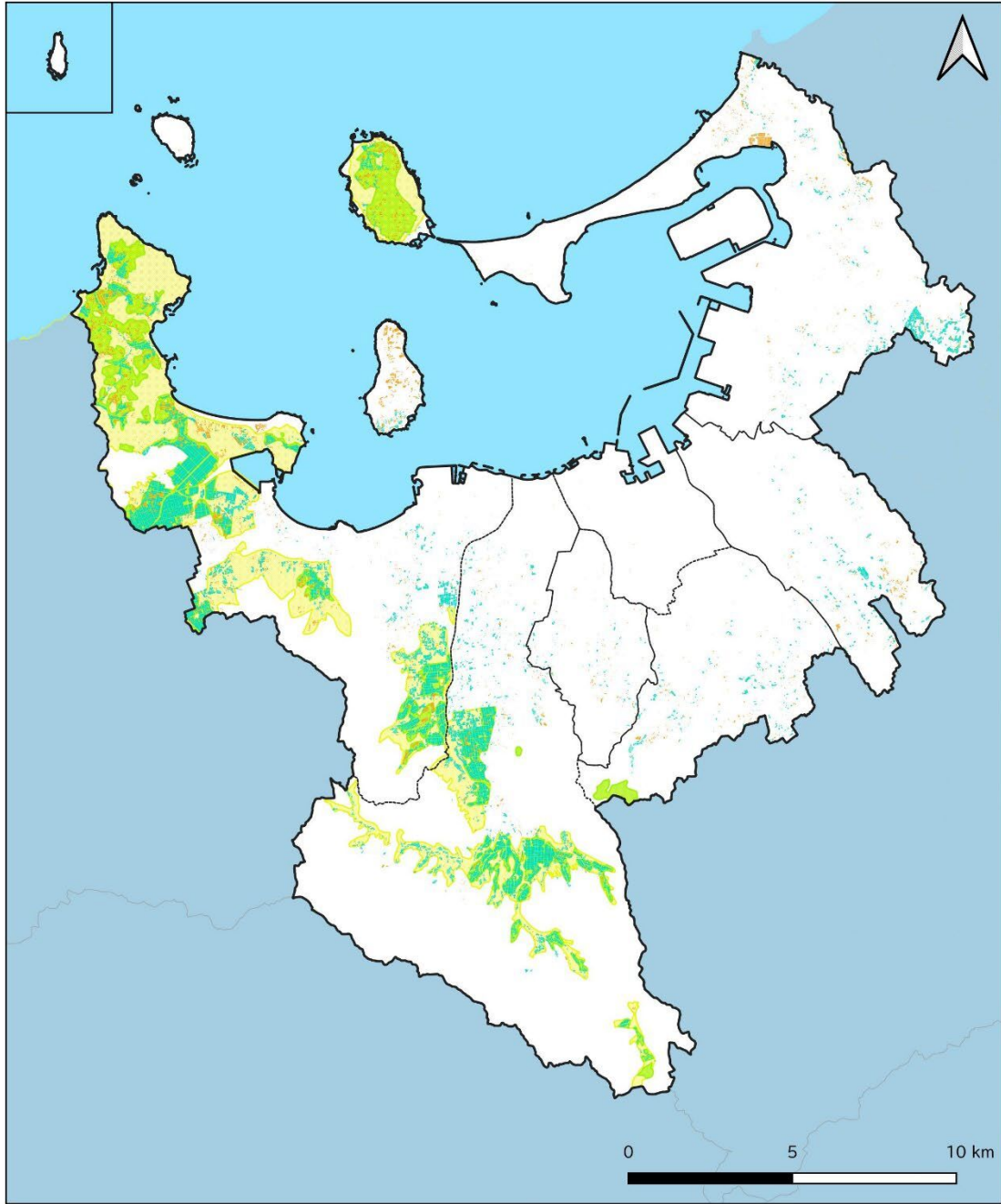
図 9 都道府県別食料自給率(2022年度)



※主な魚種

出典:福岡市の農林水産統計パンフレット(2025(令和7)年)

図 10 福岡市における水産物の生産額(2023年)



出典:国土交通省「国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ」(2021(令和3)年)

図 11 農地の状況(農地筆ポリゴンと農業地域、農用地区域)